

## 5年生 音楽 学習の手引き

お休みが続いていますが、おうちでの学習は進んでいますか。音楽は、音がないとわかりにくいので、このページから音楽を聞くページにうつれるようにしました。おうちの人の許可きよかがもらえたら、音を聞きながら勉強を進めてください。

### 1 舞台ぶたいから未来へ

まず教科書の表紙をあけると、野村萬齋まんさいさんのメッセージがあります。読んで見ましょう。YouTube を見られる人は、「狂言きょうげん」や「野村萬齋のむらまんさい」で検索けんさくして、狂言を見てみてください。ただし、YouTube を見る時は、必ずおうちの人の許可きよかをもらってください。

### 2 にっぽんのうた みんなのうた 「こいのぼり」

- (1) 教科書の8ページから9ページにかけての見開きをあげましょう。「こいのぼり」の歌しうたが書かれているので、声に出して10回読みましょう。
- (2) 見開きを開くと3ページにわたって「こいのぼり」の情景じょうけいの写真が出ています。歌しのどの場面の様子か、考えてみましょう。
- (3) 見開きを閉じて10ページを開けると、「こいのぼり伝説」の説明が書かれているので、よく読みましょう。
- (4) 次のページに「こいのぼり」の楽うたふがあります。歌しのおずかしい言葉の意味も書かれているので、それも使って、歌し全体の意味を調べてみましょう。そして、くり返し音読し、歌しを覚えてください。
- (5) 教科書会社のホームページで「こいのぼり」が聞けます。パソコンやスマホが使える人は、おうちの人の許可きよかがもらえたら、聞いて歌えるようにしましょう。

<https://www.kyoiku-shuppan.co.jp/textbook/shou/ongaku/document/ducu2/docu206/5nen.html>

### 3 低音のはたらきを感じ取って演えんそうしよう 「茶色の小びん」

- (1) 教科書12ページをあげましょう。今まで勉強してきたことをもとに、「茶色の小びん」のリコーダーパートにちょうせんしましょう。楽ふを読むのが苦手な人は、教科書にドレミを書いてから練習するといいですね。高いミの音は、サミング（左手の親指でうらあなに少しすき間をつくること）に

気をつけましょう。「くり返し記号と1番かっこ・2番かっこ」が出てくるので、13ページの説明をよく見て、くり返した時の演そうのしかたをたしかめましょう。

(2) 「低音」パートをけんばんハーモニカで練習しましょう。左手でひくようになっています。このパートは、へ音記号で書かれています。へ音記号の楽ふの読み方は13ページに出ているので、それを見て、まず教科書にドレミを書いてから練習するといいです。

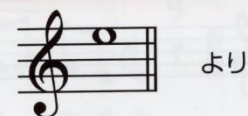
(4) 教科書会社のホームページで「茶色の小びん」が聞けます。リコーダーの演<sup>えん</sup>そうと歌が入っています。リコーダーとけんばんハーモニカで演そうできるようにになったら、歌も歌えるようにしましょう。

<https://www.kyoiku-shuppan.co.jp/textbook/shou/ongaku/document/ducu2/docu206/5en.html>

## リコーダーの指づかい

※バロック式の指づかい

## サミング



高い音を出すときは、左手の親指を少し開けます。

- ① 音をききながら親指のすきまを調節してふきましょう。
- ② タンギングの仕方や息の強さをくふうしましょう。